

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園施設整備に必要な経費			担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者	
事業開始年度	平成17年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画課施設管理室		黒岩 嘉弘	
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条			関係する計画、通知等	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園第三期中期計画(H25.3.29)			
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の建物の安全性の確保等に必要な施設整備を行うことを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の施設の整備工事 補助率10/10							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	175	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-
		計	175	0	100	0	0	0
	執行額	132	-	86	-	-	-	
	執行率(%)	75%	-	86%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	工事出来高(契約額に対する支出額の割合)を各年で100%実施する。	工事出来高(契約額に対する支出額の割合)	成果実績	%	100	0	100	-
			目標値	%	100	0	100	-
			達成度	%	100%	0%	100%	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	改修及び修繕等の施工件数	活動実績	件数	1	0	1	-	
		当初見込み	件数	1	0	1	0	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト X:「当該年度執行額」 Y:「活動実績件数」		百万円	132	-	86	-	
			計算式	X/Y	132/1	-	86/1	-
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園施設整備費	0	0					
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供等を行っており、施設の安全性の確保等の観点から、本事業は不可欠である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供等を行っており、施設の安全性の確保等の観点から、国が行う意義は大きい。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供等を行っており、施設の安全性の確保等の観点から、優先度の高い事業となっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	工事の施工業者については一般競争入札を採用して支出先を決定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一般競争入札を原則とするなど、コスト削減や効率化に向けた取組によりコスト削減が行われたため、14百万円の不用は妥当である。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果目標に見合った成果実績となっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合った活動実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	施設運営に十分活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	運営に関する経費と施設整備に関する経費に適切に区分している。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部	787	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のそみの園運営交付金		
点検・改善結果	点検結果	一般競争入札を採用し、適切な支出を行っている。			
	改善の方向性	平成27年度においては、工事の予定はないが、引き続き一般競争入札の採用により競争性の確保に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	計画的に工事の予定を策定し、必要な予算額の確保に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	520	平成23年度	473	平成24年度	417
平成25年度	960	平成26年度	788		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
86百万円



A (独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
86百万円



《一般競争入札実施分》

B サンセイ電設株式会社 85百万円

〔受変電設備更新工事〕

《随意契約分》

C 株式会社齋藤設備技研 1百万円

〔受変電設備更新工事設計業務〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	受変電設備更新工事	86			
計		86	計		0
B.サンセイ電設株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	受変電設備更新工事	85			
計		85	計		0
C.株式会社齋藤設備技研			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	受変電設備更新工事設計業務	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	受変電設備更新工事	86	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	サンセイ電設株式会社	受変電設備更新工事	85	2	50%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社齋藤設備技研	受変電設備更新工事設計業務	1	随意契約	-